



平成 30 年度 山田小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月29日（月）に開催された「平成30年度山田小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 29 日（月） 19:00～20:40		
会 場	市民体育館		
参加団体 (17名)	加茂町内会 西旭ヶ丘町内会 旭ヶ丘町内会 交通安全母の会 加茂保育園 旭ヶ丘幼稚園	山田小学校 山田小学校 PTA 山田中学校 学校支援地域本部 エコリーダー	スポーツ推進員 民生委員・児童委員 錦田地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会 保護司会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

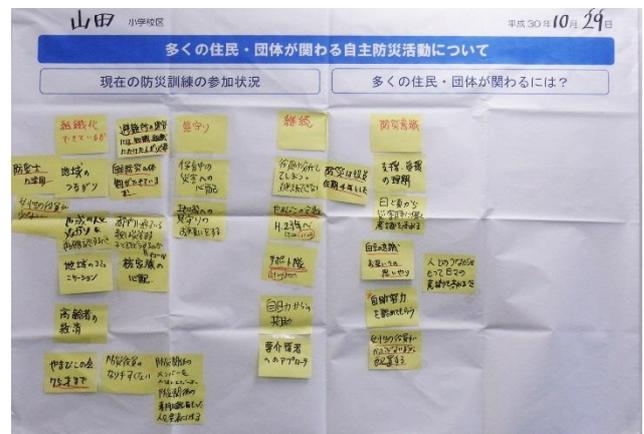
西旭ヶ丘町内会	町内一斉清掃、防災訓練以外にもコミュニティの場を作っていきたいと考えています。
三島市社会福祉協議会	介護保険では賄いきれない困りごとに対応して、誰もが住みやすいまちづくりを進めています。高齢者の事故について、些細な事でもご連絡ください。
山田中学校	750名いた生徒も少子高齢化により、現在は270名、来年も1クラス減り、合計で9クラスになる予定です。PTA活動にも支障がでていますが、質を落とさず、活動していけるように盛り上げていきたいです。
エコリーダー	里山の観察会、山田川の水生生物観察会の説明を行なっています。
民生委員・児童委員	地域の行事に積極的に参加し、コミュニケーションを取りながら地域の見守りを行なっています。
保護司会	社会を明るくする運動をメインに活動しています。少年少女の犯罪は減ってきていますが、高齢者、覚せい剤の犯罪は増えてきています。
旭ヶ丘幼稚園	3歳児保育が始まりました。来年度の入園希望者が14名集まり、無事に次年度も3学年で保育ができるようになります。
山田小学校	学校支援地域本部の方には、スクールガード、花壇づくり、学習支援で協力していただいています。今後、更なる地域との連携を深めていきたいです。
学校支援地域本部 (山田中)	現在、3名で運営しており、この数は市内最少です。学校支援地域本部ボランティアを募集しています。生徒数が減る中で、ボランティアがなかなか集まらないのが現状です。ぜひ参加のご協力をお願いします。
加茂町内会	10月21日に初めて避難訓練を行ない、学生約100名、大人約850名と大変多くの方にご参加いただきました。
山田小学校PTA	10月にキャラバン行事が終わりました。冬にかけて、交通事故、犯罪から守っていただけるよう、今後も見守りのご協力をお願いします。
加茂保育園	地域、小学校の行事、防災、清掃、音楽会にも参加させていただいています。保育園からも何か発信していきたいと考えています。
山田小学校交通安全母の会	自転車の乗り方講習会や様々な講習に参加しています。子どもたちに安全な自転車の乗り方を伝えていきたいと思えます。
錦田地区地域包括支援センター	65歳以上を対象にした運動教室を実施しています。ぜひご参加ください。

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	ごみ量の現状と将来の目標
	自主防災活動

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組み

さらにごみを減らすために何ができるか

現在の取組み

■庭でたい肥にしている

- ・生ゴミは庭に埋める
- ・生ゴミの処理問題→肥料に
- ・農家なので野菜クズ等はたい肥化して活用している

■できるだけリサイクルしている

- ・リサイクルできるものを種分けする
- ・リサイクルショップを利用している
- ・ペットボトル、食品トレー、ミックス古紙は分別してスーパーや古紙回収へ持参

■使い捨てのものをもらわない

- ・使い捨てのものはストロー、買い物袋を代替する

■生ゴミを乾燥している

- ・コンポストを使用
- ・野菜クズなどを干す
- ・分別をしっかりと行い、草などは土地内で枯らしてから燃えるゴミに出す
- ・町内清掃の一週間前に草刈りをする
- ・町内一斉清掃の14日前に草木を乾燥させて出す

■生ゴミの水切りをする

- ・水切りネットを使う

■埋立地の延命、灰の建材化

- ・埋立地の延命、焼却灰をコンクリートと混ぜ、固型化し、再利用する

何ができるか

●集めて（海外で）リサイクル

- ・不要になった衣類等を市が集め、東南アジア等へ送る
- ・再利用のリサイクルを意識する

●アートとして利用する

- ・植木鉢に絵を書いて再利用してホームセンターで販売

●リサイクルできるものを買う

- ・生活クラブ（生協等）で回収できるビンの調味料を使う

●自転車、傘を公共シェアする

- ・自転車（古い）や傘を誰でも駅で使用できるようにする

●残菜を減らす

- ・大根の皮や魚の骨なども調理して食べるようにする

●古紙として換金する

- ・紙段ボール等紙類を町内に大きな収集箱を設け古紙として換金する
- ・子ども会の古紙回収に協力する
- ・自治会の資金として活用する

●おゆずりする

- ・いらぬ服はまず友達にあげる
- ・カエルキャラバンでおもちゃをゆずっている

●買いすぎないことを心がける

- ・物をたくさん持たない工夫、最低限の買い物をする

現在の防災訓練の参加状況

多くの住民・団体が関わるには？

現在の取組み

■組織化できているか

- ・防災士の活用
- ・女性の役員が少ない
- ・地域のつながり
- ・避難所運営には知識組織に長ける人が必要
- ・地域の人とつながりを再確認すべき
- ・自主防災の体制ができているか
- ・都内に通っている親は災害時子供をどうするか＝核家族の心配
- ・高齢者の救済
- ・地域のコミュニケーション
- ・やまびこの会 75歳まで
- ・防災役員のなり手少ない
- ・防災関係のメンバーを会議に呼び込む、専門知識をもった人を会議につける

■見守りの課題

- ・保育中の災害への心配がある
- ・地域への見守りを願う

■継続が課題

- ・役員交代してしまう、継続できない、防災は役員任期 4年とした
- ・やまびこの会発足 H29
- ・サポート隊 H24
- ・自力からの共助
- ・要介護者へのアプローチ

関わっていくためには

●防災意識を高める

- ・支援、受援への理解
- ・日頃から災害時に備え意識を高める
- ・自主の意識、お互いへの思いやり
- ・人とのつながりをもって日々の意識を高めるべき
- ・自助努力を認めてもらう
- ・女性の役員がかぶらないように配置する